

防衛議員連盟 県外視察研修の概要

防衛議員連盟では、平成20年度から、全国の自衛隊の基地・駐屯地等関係施設の視察研修を実施しており、今年度は福岡県、長崎県及び鹿児島県において実施しました。

今回の視察研修の概要は次のとおりです。

日程	令和2年2月3日（月）～5日（水）
視察先	<ul style="list-style-type: none"> ○ 航空自衛隊 春日基地 ○ 陸上自衛隊 福岡駐屯地 ○ 海上自衛隊 佐世保基地 及び 海上自衛隊佐世保史料館 ○ 陸上自衛隊 相浦駐屯地 ○ 海上自衛隊 鹿屋航空基地 及び 鹿屋航空基地史料館
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防衛議連会員議員（14名） ・会長:本宮 勇 ・副会長:三宅 浩正 ・事務局長:松下 行吉 ・顧問:横田 弘之 ・顧問:西原 進平 ・理事:木村 誉 ・監事:森高 康行 ・会員:笹岡 博之 ・会員:福羅 浩一 ・会員:大石 豪 ・会員:大政 博文 ・会員:山崎 洋靖 ・会員:中野 泰誠 ・会員:新田 泰史
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 航空自衛隊 春日基地（2月3日） <p>中国（山陽・山陰）、四国及び九州地域の防空を任務とする春日基地の防衛・警戒任務等について説明を受けるとともに、練習機であるT-4型航空機や、平成30年の西日本豪雨の際、宇和島市へ派遣していただいた給水車や炊事車などの見学等を行いました。</p> <p>また、隊員食堂において、基地司令をはじめ、9名の愛媛県出身の隊員とともに喫食し、意見交換を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>



○ 陸上自衛隊 福岡駐屯地（2月3日）

朝鮮半島に最も近く、西日本防衛の要である第4師団の防衛警備や災害派遣等について説明を受けるとともに、戦車のような主砲を搭載し、高速道路も走行可能な16式機動戦闘車や核・生物・化学兵器対処用の装輪装甲車であるNBC偵察車などを見学し、その特徴等について説明していただきました。

概要



○ 海上自衛隊 佐世保基地（2月4日）

佐世保地方総監を表敬し、対馬海峡の警戒監視や南西諸島などの島嶼地域の防備を担う基地の果たす役割の重要性等について意見交換を行いました。

また、佐世保資料館では、映像や当時の資料などを通じて、海上自衛隊の歴史や、佐世保の日清・日露戦争や太平洋戦争時代の旧日本海軍の状況などについて説明していただきました。



○ 陸上自衛隊 相浦駐屯地（2月4日）

島嶼防衛において「奪還」の任務を担うため、平成30年3月、陸上自衛隊に新編された日本唯一の部隊である水陸機動団について、その役割の重要性をはじめ、訓練の様子などの説明を受けるとともに、水陸両用車であるAAV7に乗車したほか、プールを備える緊急脱出訓練所などを見学させていただきました。



○ 海上自衛隊 鹿屋航空基地（2月5日）

南西海域の安全保障をはじめ、広大な海域、離島の海難・急患輸送など、任務の重要性について説明を受けるとともに、救難ヘリコプターUH-60やP-3C型航空機などを見学し、性能等について説明していただきました。

また、鹿屋航空基地史料館では、神風特別攻撃隊に係る遺品や零戦等について説明を受けましたが、鹿屋を飛び立った特攻兵の心情を思うと、胸が詰まる思いが致しました。

